

2011 12 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

図書館だより

NO. 61

平成6年10月1日

県立図書館再発見



埼玉資料

目次

ご存じですか、図書館のこんな資料—埼玉資料—
 彩の国さいたま図書館フェスティバル'94のお知らせ
 コーヒーブレイク
 映画会のご紹介



彩の国さいたま

埼玉資料

ご存知ですか図書館のこんな資料



埼玉県は首都圏の一部に位置し、急速な変化・発展を遂げてきました。その中で、「埼玉県は他県に比べ特色がない」という話をよく耳にします。それは埼玉に特色がないのではなく、埼玉に対する理解が薄いからなのではないでしょうか。埼玉県立図書館では、忙しい毎日の生活の中で見失いがちな「郷土埼玉」を再発見させてくれる、そんな資料を広く皆様へ提供しています。

いろいろな埼玉資料

埼玉県立図書館で収集している埼玉資料(郷土資料)は、大きく二つに分けられます。

ひとつは埼玉に関することから扱った資料で、これらには県や市町村で刊行する行政資料も含まれます。具体的には、県史・市町村史、伝記、地図、統計、民話・伝説、文化財関係等の資料です。

もうひとつは、内容的には埼玉とかわりがないものの、埼玉にゆかりのある人が書いた資料です。これにも様々なジャンルがありますが、歌集・句集等文学関係の資料が多いのが特徴です。

その他にも、県報・市町村広報、文芸誌等、埼玉に関係する新聞や雑誌、パン

フレット類も収集しています。

ご利用について

資料のご利用は、基本的に館内利用となります。

ただし、破損の恐れがある等の一部の資料を除いて、コピーをとることができます。

また、お捜しの資料がない場合には、リクエストも受け付けています。

その他、レファレンス(参考調査)も行っていきますので、埼玉に関する調べ物でお困りの時には、カウンター職員にお気軽にお尋ねください。

担当者からお願い

埼玉資料を収集するにあたっての鍵は「蓄積」にあります。今後も、網羅的・継続的な収集を心がけ、より多くの資料を提供していきたいと思っております。

そこで皆様をお願いですが、埼玉に関する本を出版された方、県内にお住いで本を出版された方は、ぜひ最寄りの県立図書館までご一報ください。永く図書館に保存し、県民の皆様へ提供したいと思います。

まつり

「埼玉のまつり
～埼玉ふるさとシリーズ3～」
埼玉県県民部自治文化課



埼玉には、多様な風土の中に四季折々多彩な祭が存在し、その数は1,500を超えたとされています。この本は、そのような埼玉の祭を春夏秋冬に分類して紹介しています。また、巻末には市町村ごとの祭の一覧表も掲載されています。

「資料で見る埼玉の祭り～展示資料目録～」発行：埼玉県立久喜図書館
埼玉の祭に関する資料展示目録ですが、網羅的に資料が紹介されています。

埼玉の地酒



埼玉県には60を超える銘柄の地酒があります。ここでは埼玉の酒に関する資料から2点ご紹介しましょう。
「関東周辺山と地酒の旅」坂倉登喜子・小川清美著 新潮社 '90
関東周辺の低山ハイキングに、蔵元の探訪を合わせた紀行。県内では寄居町や秩父市などの5銘柄が紹介されている。
「地酒に関する文献目録」埼玉県立久喜図書館 '06

郷土資料展に際して作成。図書のほか雑誌記事等も網羅。埼玉の地酒索引付き

郷土カルタ

「そ 空高く伸びよ埼玉 ケヤキの木」

「め 明治四年 うぶ声上げた 埼玉県」



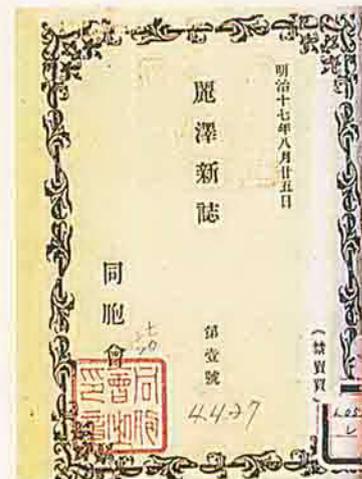
昭和57年に発行された「さいたま郷土かるた」は、読み札、取り札ともに県下の小中学生の協力によって作成されました。このかるたには、埼玉が育てた人物や自然、文化や産物などがよみこまれ、また描かれています。

このほかに朝霞市、岩槻市をはじめ21の市や町で同様のかるたが刊行され、郷土理解の一助となっています。



雑誌創刊号

古いもの順・ベスト5



- 1 麗澤新誌 明治17年8月刊 飯能 同胞会
- 2 教育義社通信 明治21年3月刊 秩父 秩父教育義社
- 3 埼玉小学雑誌 明治24年4月刊 熊谷 金森正之助
- 4 常盤之友 明治26年1月刊 熊谷 常盤倶楽部
- 5 平民雑誌 明治26年9月刊 浦和 埼玉平民社

*「埼玉郷土資料総合目録」より

いろいろな埼玉資料

「どんぐりの家」
山本おさむ著 小学館

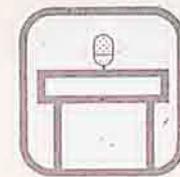


埼玉資料というと、「固くて面白くない」というイメージもあるかと思いますが、中にはこんな一冊もあります。

「どんぐりの家」は、漫画週刊誌に連載されていた障害者問題について深く考えさせられる感動的な作品です。

なぜこの本が、埼玉資料なのでしょう。それは、この本のタイトルとなり、舞台ともなっている共同作業所「どんぐりの家」が、大宮市に実在しているからです。

私たちは、こういった本も埼玉資料と考えています。みなさんも図書館でいろいろな「埼玉」に触れてください。



イベント

彩の国さいたま図書館フェスティバル'94のお知らせ

- 1 講演会・シンポジウム
12月10日(土) 12時45分～16時35分
川越福祉センター講堂
講演：「ニュースの裏・表」江森陽弘氏(ジャーナリスト)、シンポジウム「あなたの身近な図書館は」：竹内愨氏(図書館情報学名誉教授)ほか
- 2 障害者の日記念のつどい
12月9日(金) 13時30分～16時
県立川越図書館視聴覚ホール
視覚障害者の留学体験談、講演と手話活語：林家とんでん氏



江森陽弘氏

- 3 郷土を知る資料展「本を探検する」
12月6日～11日 県立川越図書館集会所
 - 4 人形劇「スイミー」ほか
12月10日(土) 14時～15時30分
県立川越図書館視聴覚ホール
 - 5 映画と音楽のつどい「魔女の宅急便」
12月11日(日) 10時～14時
県立川越図書館視聴覚ホール
- ※1,2については住所・氏名・電話番号・参加行事名を記入の上、はがきか電話でお申込み下さい。(〒350-11 川越市新宿町1-17-1 TEL0492-44-5602 Fax0492-40-1054) 無料 定員：1=400名 2,4,5=140名



コーヒーブレイク

知られざる芸能

国際交流員
ジェフリー アングルス

日本の芸能を考えると、荒々しい歌舞伎の俳優や優雅な芸者の浮世絵、幽玄な茶道や能は私に想像する。しかし、最近、日本人に忘れられつつあるもう一つの芸能を拝見するチャンスに出会った。県立熊谷図書館で弁士の澤登登さん、活動写真、すなわち映画を集めた満席の70人に語った。

映画は「顔の母」という無声映画で、19世紀の中頃、千恵蔵扮する若いやくざが、江戸で、子供の頃別れた母を探すと、この母は、現在とは随分と異なる埼玉と東京を舞台に、埼玉のやくざや乱暴なやくざの世界を描いて、私の心をとらえた。昭和6年の映画なのに、非常に近代的なイメージやカメラ角度を使っていて、感心した。

映画だけだったら、大して印象に残らなかったかもしれないが、弁士のお話で、忘れられない経験となった。澤登さんは外見では、静かな方のようにお見受けしたのであるが、映画が始まった途端、彼女は別人になった。というよりも、彼女が違ふ5人になったと言った方が正しいかも知れない。舌もなく、声の高さと声色をどんどん変えながら、男と女、嬉しい役柄と悲しい役柄を完璧に切り分け、映画の人物になりきっていた。私は、一人だけの声で聞いていることをすぐ忘れた。映画が終わって、再び部屋が明るくなった時、私はもう一度静かな人に戻った澤登さんに大きく拍手しながら、本当にこの人があの声を出したのかと感心した。

残念ながら、無声映画の人気はなくなった今、澤登さんの様な弁士が少なくなり、弁士という芸能に触れる機会がほとんどなくなっている。日本にも弁士は、数人しかいないそうであり自分の母国アメリカでも、多くの人にも弁士とは何か分からないくらい少ないという状況になっている。

一方、県立熊谷図書館の席が全部埋まったことやとても大きい拍手が続いたことは、弁士が未だ歓迎されていることを示している。私は、澤登さんの素晴らしい演技が、若い人が弁士という芸能を勉強するきっかけになることを強く期待している。

(埼玉自治から再掲)

県立浦和図書館(048-829-2821)

- 10月7日(金)14時～ 懐かしの名画
「武器よさらば」
- 10月15日(土)10時～ 親子映画会
「ハロルドのふじぎなぼうけん」「マビレーヌといたずらっこ」ほか
- 10月21日(金)14時～ チャップリン集
「チャップリンの役者」「アルコール夜通し転宅」ほか
- 10月28日(金)14時～ 同和教育映画
「さわやかに風吹く町」
- 11月4日(金)14時～ 懐かしの名画
「第七の封印」
- 11月11日(金)14時～ 県民の日映画会
「あらかわ」
- 11月12日(土)10時～ 親子映画会
「かもさんおとおり」「沖釣り漁師のバート・ダウじいさん」ほか
- 11月25日(金)14時～ チャップリン集
「チャップリンの失恋」「アルコール先生海水浴の巻」

県立熊谷図書館(0485-23-6291)

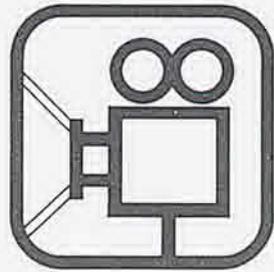
- 10月8日(土)10時30分～ 「はらべこおおむし他」「イワン王子の大冒険」
- 10月14日(金)14時～ 「骨の老化とその子防」「奇妙な出来事アトビー」
- 10月28日(金)14時～
「コスモスの道しるべ」
- 11月5日(土)10時～、14時～ 「ここに泉あり」
- 11月11日(金)14時～ 「夕霞の門」
- 11月12日(土)10時30分～ 「さいこのおきやくさま」「しっぽのない子ねこ」
- 11月14日(月)10時～、14時～ 「下細谷さら獅子舞」「大井の民間信仰」
- 11月25日(金)14時～ 「竹縄の里」「秩父の夜祭り」
- 12月3日(土)10時～、14時～ 「自転車泥棒」
- 12月9日(金)14時～ 「北壁に舞う」
- 12月16日(金)14時～ 「60・70花ならつぼみ」「バス停の座布団」
- 12月22日(木)14時～ 「ドナルドダックとかわいい子リス」「魔女の宅急便」



武器よさらば
原作＝アーネスト・ヘミングウェイ
出演＝ゲアリー・クーパー、ヘレン・ヘイズ



サツウのきじ
雪がとめどなく降っています。少女の名前はサチ子。車椅子に掛けています。声が出なくても心の中では、いっぱい色んなことを思っています……



自転車泥棒
ようやく職をみつけた一家の主人が、一番大切な歯立道具の自転車を盗まれてしまう。その時親子は……



秩父夜祭り
国の重要民俗文化財に指定されている夜祭りを通して、人々の生活に根付いた祭りの持つ意味を考えます。

県立川越図書館(0492-44-5602)

- 親子映画会**
10月8日(土)10時、14時～ 「愛華ちゃんの地球」「森じいさんの贈りもの」
木の精「森じいさん」と出会った太郎は「森じいさん」と共に宇宙空間や秩父の山に出かける。そこで、森や緑が果たす大切な働きや、私達が受ける自然からの贈りものについて考える。
- 映画の集い～日本の祭**
10月28日(金)14時～ 「ねぶた祭り」「諏訪の御柱」
- 親子映画会**
11月12日(土)10時、14時～ 「サツウのきじ」
雪深い山村。優しくったおばあちゃんの突然の死のショックから、立つことも口をきくことも出来なくなってしまった少女サチ子。両親の懸命の努力と愛情、そして隣人たちの心の交流。野生のキジに寄せるサチ子の優しい心。厳しく、美しい大自然をバックに、そこに生きる人々のほのほのとした心が伝わってくる。
- 名作映画会**
11月25日(金)14時～ 「野菊の墓」

県立久喜図書館(0480-21-2659)

- 10月1日(土)10時、14時～ 「瀬戸内少年野球団」
「私たち野球をやりましょ」敗戦直後の淡路島を舞台に、野球に熱中する子供たちとそれを見守る大人たちを描く
原作：阿久 悠、監督：篠田正浩、主演：夏目雅子
- 10月8日(土)14時～ 「まっぴら先生」
- 10月28日(金)14時～ 「サッカーの神様～ベレの妙技」1、2、3」
- 11月4日(金)14時～ 「ガキ大将行進曲」
- 11月12日(土)14時～ 「エリック・カール・コレクション1」
国際的な絵本作家エリック・カールの作品のアニメーション 声の出演：さだまさし
「イワン王子の大冒険」
- 11月14日(月)14時～ 「中川水系」「あした…私たちの地球」
- 11月18日(金)14時～ 「秩父夜祭り」「ねぶた祭り」